

最優秀賞	添削の 亡き師の癖字 身に入むる	遊泉
優秀賞	日泰寺 出迎え役は 道をしへ	鎌田 洋
優秀賞	床上げの 妻の化粧や 秋の晴	小野 薫
優秀賞	久闊を 詫びし絵葉書 星流る	今堀 あや
佳作	忘れ草 君との恋を 忘れさせ	水野 真歩
佳作	金魚鉢 赤いドレスと 君の笑み	江崎 琴音
佳作	緑陰に 健啖仲間 手弁当	松波 壽子
佳作	夏祭り 夜空に咲いた 恋の花	宅野 友菜
佳作	子が俳句 続けし夏と なりにける	小雪
	豆飯や 遺影の父の 子煩惱	遊泉
	染まる頬 生まれし我が子 秋の風	矢田 奈々
	昼寝の子 大きく育て トマトの実	青藍 蒼
	君の頬 夏の夕陽の 終着点	青藍 蒼
	ごめんなさいを ありがとうに代え カーネーション	砂里
	夏萩や 早く元気に 古き友	砂里
	余所行きに 名札の光る 一年生	鎌田 洋
	妻ありて 家のあちこち 春の風	副松 勲
	寒昴 共に歩みし 六十年	副松 勲
	麦秋や 紫煙たなびく コンバイン	那須 理三郎
	赤蜻蛉 舗道に沿いて 往き来せり	那須 理三郎
	入院妻 末期の夏か 子と電話	小池 和男
	静かなり 曾孫の来ぬ日の 老いの夏	小池 和男
	90の高い壁 喧嘩しつつも 壁越えた	加藤 好江
	千の種 もっと増そう 輝く街に	加藤 好江
	夏休み 美容院だけの 介護妻	栗田 昌子
	夏見舞 故郷ゼリーで 1℃冷え	栗田 昌子
	濡れた目で ありがとうだけ 蝉しぐれ	松波 壽子
	夏休み 毎日部活 肌黒し	矢口 結
	夏の笹 年に一度の 願いごと	矢口 結
	ゆかた着て 愛しの彼と 夏祭り	上野 結菜
	夏に吹く 涼しい風が 心地良い	上野 結菜
	なにげない 毎日の会話 育む愛	野木森 美桜
	朝早く 毎日の弁当 「ありがとう」	野木森 美桜
	母の日に こころを込める カレーライス	萩川 咲
	雪の日に 家あたたまる ホームビデオ	萩川 咲

ありがとう 何度も言うよ この夏も	古川 実美花
宵の春 友を追憶 帰り道	伊藤 玲海
名月や 家族みんなで 眺めやる	伊藤 玲海
梅雨過ぎて 彼との去年 思い出す	ほしら
初夏の朝 暑さにばてる 僕と彼	ほしら
桜散る 周り見渡し 君探す	安江 結彩
短冊に ずっと一緒 願い事	安江 結彩
夏の朝 母のねがおに ほほえんだ	嵯峨 如月
クリスマス 今日家族と デートなう	大野 くらら
夏の朝 電車で揺られ 汗ポタリ	久保 明莉
夏の夜 花火してくれる 相手どこ？	久保 明莉
朝起きて 涼しい部屋でも セミの声	服部 琴音
熱帯夜 かまわずすり寄る 鈴と毛玉と	鳥澤 結奈
止まらない 溶けるアイスと 笑い声	鳥澤 結奈
あの夏に 手をつなぐとね あついんよ	松村 実咲
生まれた日 時刻ぴったり おめでとう	松村 実咲
猫よ猫 セミを食べるな 絶対に	郡山 さくら
せんぷうき 独占するよ うろの猫	郡山 さくら
放課後に 友達「暑い」と せんぷうき	舘 結香
暑い中 アイスほおぼる お友達	舘 結香
思い出の 絨毯踏みて 桜並木	水野 真歩
気づいたよ 桜のような 暖かさ	畔地 未稀
暑い夏 久々の声 足とめる	畔地 未稀
桜の日 枝分かれても 咲き誇れ	園田 彩華
思い出す 夏虫集めた あの頃を	園田 彩華
空蟬の 幽かなる声 鳴り止まぬ	江崎 琴音
夏の夜 課題じ染みる 汗と芯	吉田 吏玖
冬の母 子をだきしめて 温かく	こぶたのママ
「ただいま」 返ってくるのは セミの声	平野 優空
夏休み 今年こそは 家族旅行	平野 優空
母の日の 思いをうめた カーネーション	伊藤 玲海
夏の空 ふと見上げると 思い出す	伊藤 玲海
夏休み 思い出づくり 親友と	桑野 心結
熱中症 コロナウイルス 気をつけよう	桑野 心結
夏の夜 蛍飛び交う 美しい	松浦 ななみ
春に咲く 色とりどりの お花たち	松浦 ななみ

かきごおり 友とほおぼり 涼みけり	藤村 心歩
君といたい 桜散るころ 別れの日	藤村 心歩
お母さんへ いつも弁当 ありがとう	水野 綾乃
支え合う つらい事は 半分こ	水野 綾乃
夏休み 友の思い出 たくさんだ	寺本 愛琉
夏すぎて 温かい風 ふく頃だ	寺本 愛琉
寒くても いつでも家族 温かい	田島 侑芽
ふり返る 君と過ごした 夏の夜	田島 侑芽
夏空に 白く大きな 入道雲	高橋 絢音
今年こそ 彼氏欲しいな 夏祭り	高橋 絢音
暮れの春 母の手握る 帰り道	森下 舞
朝の会 言葉を交わす 花の友	森下 舞
涼夜 帰郷で諾子の 気持ち知る	久志本 心暖
蛤に 祖母の幻 魅せられて	久志本 心暖
紫陽花や やさしき姉は 天の花	小室 やす子
旅先の 思い出残る 夏帽子	小室 やす子
遠雷や 夜爪に母の 声をふと	今堀 あや
鬼燈よ 吾娘の御霊の 何処にや	川崎 喜久子
亡き夫の 口笛聞こゆ 星月夜	川崎 喜久子
散歩クラブ 復活をして 花は葉に	小松 とみゑ
全棟の 消灯をして 銀河澄む	小松 とみゑ
無沙汰わび 父の墓前に カップ酒	奥村 勝志
コロナ禍も 孝行兼ねて 秋祭り	奥村 勝志
聞かぬ子が 親となりをり 茄子の花	福島 好明
色ずきて トマト分けたや 笑みの人	福島 好明
妻と居て 子と居て月の 美しき	徳井 美弥子
小さな手 ずっと守るよ 大きな手	徳井 美弥子
妻立ちて 残り香流す 秋の風	山河花鳥
集ふ蜻蛉 激論交わし ふっと消えり	伊藤白雲
夏日陰 墓参のバスの ゆるゆる来	伊藤白雲
カーネーション 贈る御跳ねの 頬赤し	吉川 真矢
ありがとう 言うも悲しき 彼岸花	吉川 真矢
彼危篤 祈る車窓に ざらめ雪	吉川 日実子
雑草よ 亡き母の家を 守りけり	吉川 日実子
孫たちも 笑顔はじける 茶豆かな	高名 俊昭
梅雨曇 一人体操 妻ありき	高名 俊昭

赤が好き 曼珠沙華の ごとき妻	智
故郷に 届けハモニカ 墓参り	智
星合を 妻と見上げて 五十年	小野 薫
夢まくら 母命日に ほたる舞う	吉田 博
夏休み わすれたレゴに 孫想う	吉田 博
青葉光 ひ孫の成長 生きがいに	紙音
母の背を ただたださする 夜寒かな	小原 あつ子
関東煮 玉子に好きな 黄身がゐる	小原 あつ子
妻入院 独り食事の 夜長かな	熊田 八郎
秋の暮 来訪の娘の 白髪見ゆ	熊田 八郎
妻の声 聞き分け向かふ 西瓜割り	ふる武
夜汽車揺れ 友想ひつつ 帰省の子	ふる武
向日葵や あいちゃん朝の 水やりに	三浦 耕二
命がけ 父炎天の 農作業	三浦 耕二
文月の シェスタは クレーンの横	小川のさんぼ
今年の盂蘭盆会 夢で会えるかな	小川のさんぼ
銃弾に 似しひまわりを 娘と蒔きて	小塚 百合子
あの頃と 云えば判り合う カンナ咲く	小塚 百合子
空蟬の 軽きをそっと 掌	奥山 慶子
「手術中」の 消えぬランプや 夏の雨	奥山 慶子
立秋や 寅年獅子座の 女子生まる	伊藤 半一郎
紫陽花は 雨が似合ふと 妻は言ひ	伊藤 半一郎
蝉時雨 被爆手帳と 共に逝く	朝日 歳子
南海の 還らぬ霊へ 盆供養	朝日 歳子
頬濡らす 母や長岡 大花火	キタロー
旧友と 未来を語る ビールかな	キタロー
たんぼぼや なんとかなるの おまじない	山田 由美子
秋うらら 母は唱歌を くちずさむ	山田 由美子
夫と植えた 桔梗供へ 合掌	伊藤 洋子
ミシン出し ひまわり柄の 孫の服	伊藤 洋子
夏終わる 褪せるな思い出 いつまでも	山田 彩友
連れ合いは 縁・感ずる 感謝です	迷えるおじさん
生きていく 大きな支え シズエさん	迷えるおじさん
夏休み 三年振りの 家族旅	松岡 綾子
夏休み 祖母感謝の 家族旅	松岡 綾子
平和園 桜ふぶき下 水いらす	夢坊主

七夕が くれた約束 友に会う	夢坊主
夭逝の 友のおもかけ 水芭蕉	木田 準一
傘寿会 同窓生は みな桜花	木田 準一
雷が 聞こえないふり 母待つ子	松林 亮子
語らない 子の今日溶かせ アイスバー	松林 亮子
庭先の 盥で行水 孫遊べ	山口 重信
瓜漬けや 老妻の合図で 石運ぶ	山口 重信
土用干し 梅の手返し 亡母想う	山口 好子
昼寝覚め 夫は鎌持ち 既に外	山口 好子
賀状交た 友の便りや 既に遠	山口 のり子
入学の 隣に写る 友はいず	山口 のり子
手紙から 文の達人 新盆想	小雪
入学の 会食は無し コロナの禍	高野 昇
ひとり居の 母の安否や 秋簾	高野 昇
紙漉の 母の話の 尽きぬこと	羽馬 愚朗
悪友と お互い笑う リラの花	羽馬 愚朗